



一心日语
いっしんにほんご

标准日语

句型地道表达

主 审 / 佐佐留美子 工藤公康 (日)
主 编 / 赵宏 李伟
副主编 / 于洋 张琳 周静 曲承之 刘淼 毕贞建

中高级

新



外文出版社
FOREIGN LANGUAGES PRESS



标准日语

句型地道表达

中高级

主 审 / 佐佐留美子 工藤公康(日)
主 编 / 赵宏 李伟
副主编 / 于洋 张琳 周静 曲承之 刘淼 毕贞建

 外文出版社
FOREIGN LANGUAGES PRESS

新

图书在版编目(CIP)数据
新标准日语句型地道表达. 中高级 / 赵宏等主编.
北京: 外文出版社, 2010.12
ISBN 978-7-119-06768-1

I. ①新… II. ①赵… III. ①日语—句型 IV. ①H364.3

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2010)第 232526 号

责任编辑: 刘承忠 王际洲
装帧设计: 佳禾书装
印刷监制: 张国祥

新标准日语句型地道表达·中高级

主 编: 赵 宏 李 伟

©2010 外文出版社
出版发行: 外文出版社
地址: 北京西城区百万庄大街 24 号 邮政编码 100037
网址: <http://www.flp.com.cn>
电话: (010) 68320579 / 68996067 (总编室)
(010) 68995844 / 68995852 (发行部)
(010) 68327750 / 68996164 (版权部)
印 制: 北京朝阳新艺印刷有限公司
经 销: 新华书店 / 外文书店
开 本: 880×1230mm 1/32
印 张: 13
印 字 数: 260 千字
装 别: 平
版 次: 2012 年第 1 版
书 号: ISBN 978-7-119-06768-1
定 价: 28.00 元

版权所有 侵权必究



前言

在课堂教学及与学生的沟通当中经常会听到学生这样的抱怨：在日语学习的过程中，初级语法的学习还算顺利，可是一到了中级以后，越发觉得找不到门道。对于句型的理解，感觉就像雾里看花、水中望月。结合本人学习日语的体会及常年在日语教学中的经验来分析，这其中除了日语自身的特点、中日语言之间的差异等原因之外，很大一部分原因在于学习方法的欠缺。在初级阶段，对于句型的学习，很多学习者大多采用“翻译法”，即用日语对应的中文译文去记忆句型，但一到了中高级，经常会看到多个日语句型对应一种中文翻译的现象，可学生还依旧采取老套路。这种望文生义、断章取义的学习方法导致学习之路越走越偏。

对于句型的学习，除了平时要经常接受来自听说方面的刺激之外，单就句型的理解这一方面，不能只靠记忆句型的中文意思，要尽量脱离中文的翻译，仔细揣摩日文的解释，并通过对大量例句的学习来培养语感，体会句型的语义、功能，这样对于句型才会有更加理性的认识，造出来的句子才地道。基于以上的想法，本书的编撰采取了如下的方法：

一、本书中收集了日语中高级语法的句型，其中也包括新日本语能力测试出题基准所列出的N1、N2级别中的句型，它既适合日语中高级的学习者，同时也可作为日语教师的语法辅导教材。

二、本书按照功能意念将各个语法条目进行了细致的分类，使

读者能够对于同一范围内的句型有宏观的认识。同时书后配有语法条目的目录，便于读者进行查找。

三、对于每个句型都配备了简单的日语解释，有利于培养学习者的日语思维，发现中文解释不全或难以解释的部分。

四、本书为每个句型的讲解都配备了大量例句，同时对每一个例句均配上译文，避免学习者由于对日语例句的理解不足所产生的“不知所云”，可以加深其对句型的理解。

五、例句中的生僻单词的发音均加以标注，为学习者节省了逐一查字典的时间，同时也是对词汇记忆的巩固和丰富。

六、在句型讲解部分的最后，设置了“注意事项”这一部分，针对学习者可能会遇到的疑问以及经常出现的错误进行解释，有助于对句型的巩固。

七、为了让学习者进一步掌握各个句型，在每个单元的最后都配备了对应的练习题，在练习题的设置方面，结合新日本语能力测试改革的要求，增设了新题型，可以有效巩固所学。

由于编者的水平有限，在句型的解释及翻译方面难免有疏漏，不足之处希望广大读者能够给予斧正和指教。

编者



第一章 動作の対象

N 2

1. ~について..... 001
2. ~に関して・~関する..... 002
3. ~に対して・~対する..... 002
4. ~にこたえて・~にこたえる..... 003
5. ~をめぐって・~をめぐる..... 004
6. ~向けだ・~向けの・~向けに..... 005

N 1

7. ~にかかわる..... 005
- 練習問題..... 007

第二章 基準

N 2

1. ~ように・~ような..... 009
2. ~とおりに(に)・~とおりの・~とおりで..... 010
3. ~に沿って・~に沿う・~に沿った..... 010
4. ~に基づいて・~に基づく・~に基づいた..... 011
5. ~をもとに(して)・~もとにする・~をもとにした.. 012
6. ~のもとで・~のもとに..... 013
7. ~を中心に(して)・~を中心として・~を中心にする
・~を中心とする・~を中心にした・~を中心とした.. 014
8. ~を~に(して)・~を~として・~を~にする・~を
~とする・~を~にした、~を~とした..... 015

N 1

9. ~に即して・~に即した..... 015
10. ~ごとく・~ごとき..... 016

練習問題.....	017
-----------	-----

第三章 関連、対応

N 2

1. ~によって・~による.....	021
2. ~によつては.....	022
3. ~次第で・~次第だ.....	022
4. ~次第では.....	023
5. ~に応じて・~に応じた.....	024
6. ~たび(に).....	025
7. ~につけて・~につけて(も).....	025
8. ~をきっかけに(して)・~をきっかけとして.....	026
9. ~を契機に(して)・~を契機として.....	027

N 1

10. ~いかにで・~いなんによつて・~いかなだ.....	028
11. ~いかにでは・~いかにによつては.....	028
練習問題.....	029

第四章 無関係、無視、例外

N 2

1. ~を問わず・~は問わず.....	033
2. ~にかかわらず・~に(は)かかわりなく.....	034
3. ~ (も) かまわず.....	035
4. ~はともかく(として).....	035
5. ~はさておき.....	036

N 1

6. ~いかにによらず・~いかににかかわらず.....	037
7. ~をもともせず(に).....	038
8. ~をよそに.....	039
9. ~いざしらず.....	041
練習問題.....	041

第五章 例示

N 2		
1.	～とか～とか.....	045
2.	～やら～やら.....	045
3.	～にしても～にしても・～にしろ～にしろ・～にせよ ～にせよ.....	046
N 1		
4.	～なり～なり.....	047
5.	～といい～といい.....	048
6.	～といわず～といわず.....	049
7.	～であれ～であれ.....	050
	練習問題.....	050

第六章 強調

I		
N 2		
1.	～さえ・～でさえ.....	054
2.	～として.....	055
N 1		
3.	～たりとも.....	056
4.	～といえども.....	057
5.	～すら・～ですら.....	058
6.	～だに.....	059
II		
N 2		
1.	～くらい.....	060
2.	～など・～なんか・～なんて.....	061
3.	～こそ.....	061
4.	～まで・～までして.....	063
N 1		
5.	～からある・～からの.....	064
6.	～というもの.....	065
7.	～にして.....	066

12. ~ところを.....	097
13. ~ものを.....	098
14. ~と思いきや.....	099
練習問題.....	100

第九章 原因、理由

I

N 2

1. ~によって・~による.....	104
2. ~から・~ことから.....	105
3. ~からこそ.....	106
4. ~につき.....	107

N 1

5. ~こととて.....	107
6. ~とあって.....	109
7. ~ (が) ゆえ (に) ・~ゆえの.....	110

II

N 2

1. ~おかげで・~おかげか・~おかげだ.....	111
2. ~せいで・~せいか・~せいだ.....	112
3. ~ものだから・~もので・~もの.....	113
4. ~ばかりに.....	114
5. ~だけに・~だけの.....	115
6. ~だけあって.....	117
7. ~あまり・~のあまり・~あまりに.....	118

N 1

8. ~ばかり.....	119
--------------	-----

III

N 2

1. ~以上 (は).....	121
2. ~上は.....	122
3. ~からは・~からには.....	123

4. ~ことだから・~ことだ.....	123
5. ~ところをみると.....	125
N 1	
6. ~ではあるまいし.....	125
練習問題.....	126

第十章 仮定条件、確定条件

N 2	
1. ~さえ~ば.....	131
2. ~としたら・~とすれば・~とすると.....	132
3. ~ないことには.....	133
4. ~ものなら.....	134
5. ~をぬきにしては.....	135
6. ~う(よう)ものなら.....	136
7. ~ない限り.....	136
N 1	
8. ~が最後・~たら最後.....	137
9. ~なくして(は).....	138
10. ~とあれば.....	139
練習問題.....	140

第十一章 逆接仮定条件

N 2	
1. たとえ~ても.....	144
2. ~たところで.....	145
3. ~としても・~にしても.....	146
4. ~にしろ・~にせよ.....	147
N 1	
5. ~といえども.....	148
6. ~であれ・~であれ~であれ.....	149
7. ~う(よう)が・~う(よう)と(も).....	150
8. ~う(よう)が~まいが・~う(よう)と~まいと.....	151

練習問題.....	152
-----------	-----

第十二章 目的、手段、媒介

I 目的

N 2

1. ~ように.....	155
2. ~上で.....	156

N 1

3. ~べく.....	157
4. ~んがため(に)・~んがための.....	158

II 手段・媒介

N 2

1. ~によって・~による.....	159
2. ~によって.....	160
3. ~によると・~によれば.....	160
4. ~を通じて・~を通して.....	161

N 1

5. ~をもって.....	162
---------------	-----

練習問題.....	163
-----------	-----

第十三章 起点、終点、限界、範囲

N 2

1. ~をはじめ(として)・~をはじめとする.....	166
2. ~からして.....	167
3. ~から~にかけて.....	168
4. ~にわたって・~にわたる.....	169
5. ~を通じて・~を通して.....	170
6. ~だけ・~だけの.....	170
7. ~かぎり・~かぎりの.....	171

N 1

8. ~皮切りに(して)・~皮切りとして.....	172
9. ~に至る(まで).....	173

10. ~を限りに.....	174
11. ~をもって.....	175
12. ~というところだ・~といったところだ.....	175
練習問題.....	176

第十四章 時点、場面

N 2

1. ~折(に)・~折の.....	180
2. ~際(に)・~際の.....	180
3. ~に際して.....	181
4. ~にあたって.....	182
5. ~ところ・~ところだ.....	183
6. ~かける・~かけの・~かけだ.....	184
7. ~うちに.....	184
8. ~最中(に)・~最中だ.....	185
9. ~において・~における.....	186

N 1

10. ~にあって.....	187
練習問題.....	188

第十五章 時間の同時性、時間の前後関係

I 時間の同時性

N 2

1. ~たとたん(に).....	191
2. ~ (か)と思うと・~ (か)と思ったら.....	192
3. ~か~ないかのうちに.....	193
4. ~次第.....	194

N 1

5. ~が早いか.....	195
6. ~や・~や否や.....	196
7. ~なり.....	197
8. ~そばから.....	198

II 時間の前後関係

N 2

1. ～てはじめて..... 199
2. ～上で・～上の..... 200
3. ～て以来..... 201
4. ～てからでないと・～てからでなければ..... 202
5. ～うちに・～ないうちに..... 203
6. ～に先立って・～に先立つ..... 204

N 1

7. ～てからというもの..... 205
- 練習問題..... 206

第十六章 進行、相関関係

I 進行

N 2

1. ～一方だ..... 210
2. ～ばかりだ..... 211
3. ～つつある..... 212

II 相関関係

N 2

1. ～ば～ほど・～なら～ほど～・～ほど..... 213
 2. ～につれて..... 214
 3. ～にしたがって..... 215
 4. ～に伴って..... 216
 5. ～とともに..... 216
- 練習問題..... 217

第十七章 付帯、非付帯

N 2

1. ～ついでに..... 221
2. ～つつ..... 222
3. ～をこめて..... 223

4. ～ことなく.....	224
5. ～ぬきで・～ぬきに・～ぬきの.....	224
6. ～をぬきにして・～はぬきにして.....	225
N 1	
7. ～かたわら.....	226
8. ～がてら.....	227
9. ～かたがた.....	228
10. ～ながら・～ながらに・～ながらの.....	229
11. ～なしに・～ことなしに.....	229
練習問題.....	230

第十八章 限定

N 2	
1. ～に限り.....	234
2. ～に限って.....	234
3. ～に限り(は).....	235
4. ～限りでは.....	236
N 1	
5. ただ～のみ.....	237
6. ～ならでは.....	237
7. ～をおいて.....	238
練習問題.....	239

第十九章 非限定、付加

I 非限定

N 2	
1. ～ばかりでなく.....	242
2. ～ばかりか.....	243
3. ～に限らず.....	244
4. ～のみならず.....	245
N 1	
5. ただ～だけでなく・ただ～のみならず・ひとり～だけ	

でなく・ひとり～のみならず.....	245
6. にとどまらず.....	246
II 付加	
N 2	
1. ～も～ば～も・～も～なら～も.....	248
2. ～うえ(に).....	248
3. ～はもちろん.....	249
4. ～はもとより.....	250
5. ～に加えて.....	251
N 1	
6. ～はおろか.....	252
7. ～もさることながら.....	253
8. ～と相まって.....	254
練習問題.....	255

第二十章 比較、最上級、対比

I 比較、最上級	
N 2	
1. ～に比べて.....	259
2. ～ほど～はない・くらい～はない.....	260
3. ～に限る.....	260
N 1	
4. ～にもまして.....	261
II 対比	
N 2	
1. ～う(よう)か～まいか.....	262
2. ～どころか.....	263
3. ～一方(で).....	264
4. ～に対して.....	265
5. ～に反して・～に反する・～に反した.....	266
6. ～反面・～半面.....	266
7. ～というより.....	267

8. ~かわりに.....	268
9. ~にかわって.....	269
N 1	
10. ~ないまでも.....	270
11. ~にひきかえ.....	271
練習問題.....	272

第二十一章 判断の立場、評価の視点

I 判断の立場	
N 2	
1. ~にとって.....	277
2. ~として.....	278
3. ~の上で・~上・~上の.....	279
4. ~からいうと・~からいえば・~からといって.....	280
5. ~から見ると・~から見れば・~から見て.....	281
6. ~からすると・~からすれば・~からして.....	282
7. ~にしたら・~にすれば.....	283
N 1	
8. ~なりに・~なりの.....	284
II 評価の視点	
N 2	
1. ~わりに(は).....	285
2. ~にしては.....	286
3. ~向きに・~向きの・~向きだ.....	287
N 1	
4. ~ともなると・~ともなれば.....	288
5. ~ともあろう.....	289
6. ~たる.....	289
7. ~まじき.....	290
練習問題.....	291

第二十二章 感嘆、願望

N 2

1. ～ことに (は) 294
2. ～ことだ 295
3. ～ことか・～だろう・～ことだろう 295
4. ～ものだ 296
5. ～たいものだ 297
6. ～ないものか 298
7. ～ものがある 299

N 1

8. ～とは 300
- 練習問題 301

第二十三章 主張、断定

N 2

1. ～まい 304
2. ～にほかならない 305
3. ～にきまっている 305
4. ～にすぎない 306
5. ～しかない・～(より)ほか(は)ない・～ほか(しかたが)ない 307
6. ～というものだ 307

N 1

7. ～までだ・～までのことだ・～ばそれまでだ 308
 8. ～に(は)あたらない 309
 9. ～でなくてなんだろう 310
- 練習問題 311

第二十四章 誘い、勧め、注意、禁止

N 2

1. ～う(よう)ではないか 314
2. ～ことだ 315